

平成27年度 校長だより

# 立志の教育



～志を胸に、頑張る中学生～  
与那原町立与那原中学校  
発行者 校長 淵田 立身

みんなで創った

★感動的で思い出に残る★

第68期卒業式!



＜3年を振り返り、答辞のあいさつをする渡久地練君＞

第68回与那原中学校卒業式が12日(土)に開催されました。早朝から、与那原町古堅町長、當山教育長はじめ、たくさんの保護者、親戚の方々にご参加いただき、すばらしい卒業式を開催することができました。

今回の卒業式は、在校生みんなが「祝福の心を伝える」ことを合い言葉に準備を進めてきました。美術部を中心に作成していた「壁画」に代わり、各学年のお祝いメッセージ、美術の時間に作成した籐のボールでの装飾など、工夫を凝らし式場を飾りました。それらの作品はどれも丁寧に作成され在校生の温かい心を感じるものでした。

式では、答辞で卒業生代表の渡久地練君がすばらしい挨拶を行いました。これまでの学校生活を振り返るとともに、後半では先生方やお父さん、お母さんへのお礼をきちんと伝える挨拶となりました。会場全体が、練君のことばを心に受け止め、3年間の中学校生活、生まれてから15年間の大きな成長を祝福しました。

卒業式を成功させたのは、1・2年生のみなさんが服装を整え、きちんとした態度で参加、大きな拍手で祝福する姿があったからだと思います。みなさんも、3年生のすばらしい卒業式を胸に刻み、進級し、成長してください。

平成27学年度

★頑張った199日の学校生活

～進級してさらなる成長を誓う～



## 1年生

1学年代表 森山 葉絵莉さん

私たち1年生の「知・徳・体」の学年目標は、意欲的に学習し、よく聞き考える生徒、勤労を尊び互いに思いやる心を持ち、善悪の判断ができる生徒、体力の向上を図り、基本的な生活習慣を身につける生徒です。

この1年間、私たち1年生がこの3つの学年目標を達成することができたか振り返ってみると、体力の向上を図り、基本的な生活習慣を身につける生徒という目標は達成できていたと思います。なぜならこの1年間を通して、朝の遅刻をする人がほとんどいなかったからです。

しかし、残り2つの目標は達成できなかったと思います。その理由は2つあります。一つ目は、授業中のおしゃべりが目立つ人がいたことです。二つ目は、休み時間に教室や廊下で走りまわっている人がいて、休み時間の使い方にまだ善悪の判断ができていないと感じたからです。学級目標が一つしか達成できなかったことは、今後の大きな課題と言えます。もっと目標を意識した毎日を送るようにしなければならぬと思いました。

私たちが1年間で一番心に残った行事があります。それは、合唱コンクールです。放課後練習が始まったばかりの頃は、どの学級もまとまりがありませんでした。でも段々、放課後練習に参加する人が増えたり、おしゃべりをしていた人達も真剣に練習に取り組むようになりました。合唱コンクールでは、賞はとれなかったけど、学級の団結力は深まったし、歌声のすばらしさが合唱に表れるのではなく、歌う姿勢、真剣さが大事だということを1年生皆が学ぶことができたので良かったと思います。



私たち1年生は、4月から2年生になります。また、私は部活も勉強も両立させ、周りのことを考えて行動できる2年生になりたいと思います。そのために自分の行動を一つ一つ考えて、自分の目標を立て、達成に向けて努力することを意識してさらに成長していきたいと思います。

## 2年生

2学年代表 崎濱 安寿 さん

私達二学年は、いろいろなことに一生懸命取り組める学年です。例えば、学年レクの大縄跳び大会では各クラスが協力して跳び、クラスの絆を深めました。他にも、合唱コンクールでは、自分たちでルールを決め、真剣に練習に取り組むことができました。また、仲が良く、明るい

学年でもあります。なので休み時間や行事などの時はとてもにぎやかになります。

そして、勉強と部活を両立できる学年でもあると思います。2月に行った県到達度調査では、全ての教科で地区・県の平均を超えることができました。また、部活動では多くの部で良い成績を残すことができました。

しかし、直すべきところもいくつかあります。二学年の良いところである明るさが裏目に出て、けじめがなく注意される時があります。例えば、授業の1分前に着席ができない時があります。プログラム委員で話しあい級長が声かけをしたり、自分たちで意識することを心がけましたが、まだ改善されていません。それに、授業が始まってからも休み時間のおしゃべりをしたり、遊んだり、本を読んでいて先生に注意される生徒がいます。そこを改善するために級長だけでなく、みんなで声をかけあったり、時計をみて行動することを心がけていきたいです。また、身なりチェックの時にチェックに引っか



かる生徒が多い時もあります。身なりを整えることは、高校生や大人になっても大切なことだと思うので、お互いにチェ

ックし合ってよくしていきたいです。

4月から私たちは三年生になります。三年生は進路決定があります。良い結果がだせるようにしっかりとけじめをつけて、今まで以上に集中して授業に取り組みたいです。また、1つ1つの行事が最後の行事になります。合唱コンクールではたくさんの人を感動させられるように努力し、修学旅行では文化を学びながら楽しい思い出を作りたいです。そして、それぞれの行事で私達学年の良さである一生懸命さや仲の良さなどを生かして最高の思い出にしたいです。これからもお世話になった先生方に感謝しながら過ごしたいです。

## 与那原中学校、3年間を振り返って

校長 淵田 立身

あっという間の3年間でしたが、与那原中学校は全校生徒、先生方が頑張る、すばらしい学校です。今年は特に、先生方の授業を受けるみなさんのいい表情、笑顔が心に残りました。先生方と心を通わせ、よい関係を築き、頑張っているみなさんの姿は、校長先生自慢の姿です。校長講話でも、学校は勉強するところであるが、いつも優しい心を持った生徒になってほしいと話をしました。どんなに勉強、スポーツが優れていても、人間らしく、優しく、温かい心がない時、それらの価値は

## 地域の方々の協力

### 学校支援ボランティアに感謝

～書道、体験的な活動を支援～



## ありがとうございました。

本校は、地域の方々に書道や体験的な活動などの支援をしていただいております。今年度も5名の地域の方々に参加いただき、教育活動を充実させることができました。子ども達が集中し、学習や活動に参加できるようになり、支援の成果は明確に表れてきており、学校全体で感謝しているところです。

忙しい中、学校の日程変更にも対応、駆けつけ、学校を支援していただきました。今年度のボランティアの新垣千鶴子さん、知念常子さん、上原泰子さん、諸見里史子さん、瀬底雄子さん、本当にありがとうございました。



〈最後の授業、これまでのお礼を伝える生徒達〉

なくなります。今年に入り、保護者、地域の方から、電話、手紙でみなさんが地域で下級生を助けるなど、「良い行い」をしているとお褒めの言葉をもらいましたが、それが何よりもうれしいことでした。豊かな心は一生の財産です。

保護者の皆様、これまで本校の教育活動に御理解、御協力をいただき、ありがとうございました。学校行事やPTA作業にもたくさんの保護者に参加していただき、うれしく思いました。

学校生活の中で、与那原の生徒のよさ、素晴らしさを日々感じてきました。子ども達の活躍はたくさんあり、校長便り「立志の教育」の記事に困ることはありませんでした。

中学生の時期は多感で、子育ても難しい時期ですが、3年間で大きな成長を遂げる時期でもあります。親としてのこだわり、たくさんの関わり、対話(コミュニケーション)で子ども達を育ててください。教育(共育・響育・今日育)を楽しんでください。

3年間ありがとうございました。お世話になりました。

